

昭和55年8月26日第三種郵便物認可 平成5年4月10日発行 (毎月1回10日発行)

# ともえ



繁栄を  
あなたと育てる  
商工会議所



函館商工会議所別館

No. 140

函館商工会議所報  
1993—4月号

はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。

みなさまの



## 函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

## Lhくみのローン

手続カンタン  
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オート  
ローン

★詳しくは窓口へ  
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

## 函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

今月の表紙／視点  
会議所の動き

平成5年度事業計画・収支予算決まる

第4回函館経済団体協議会

函館空港国際化推進協議設立総会

道新幹線実現・総決起大会、中央陳情

函館圏優良土産品推奨会開催

データをチェック

調査レポート

地域の景気 金融経済概況 (二月)

市内第一種大規模小売店舗売上高 (二月)

誌 上講演

経営者のガン予防 (11)

人の使い方

共済推進コーナー

テイータイム

暮らしのワンポイント

さわやか君

有段を目指して 詰碁・詰将棋

アドバイスコナー

公的年金制度のしくみ (1)

Q & A

みんなの相談室 税務相談

ご案内

複式簿記実務講座のご案内

検定試験のお知らせ

刊行物のご案内

ウラジオストク姉妹都市提携記念訪問

参加者募集のお知らせ

会員サービス事業をご利用ください

ご利用ください 本所の個別専門相談

付録 会員サービス事業施設一覧ポスター

◇今月の表紙

函館商工会議所別館

大正十二年(一九三三年)、当時の水産業界において数多くの功績を残し、函館経済界の中心的人物として活躍した小熊幸一郎氏より寄付された五万円をもとに、市内鶴岡町(現在の大手町)に函館商工会議所の新所屋が建てられた。

この建物は、芯材にレンガを使用した鉄筋コンクリート造り三階建て、延べ約六百平方メートルで、玄関のギリシャ風の円柱やバルコニー、正面の紋章などが特徴的な洋風の建築物であり、昭和四十二年に商工会議所が現在地に移転するまで使用され、その後も函館簿記学校として使用されるなど、長く市民に親しまれたが、老朽化が進み、この三月に約七十年に及ぶその使命を終えた。

視点

暖かだった三月も終り、平成五年度の四月を迎えました。このまま推移すれば、桜の開花も早まり、五月の連休には充分楽しむことができると思います。

しかし、経済の分野では、厳しい日々が続いており、一部住宅投資に回復の徴候が見られるというのですが、やはり、設備投資の減、個人消費の伸び悩みなど、全体としては引続き停滞しているといえます。

このため政府では、本年度予算の成立後なるべく早い時期に、十四兆円にも及ぶ大型補正予算を編成し、景気回復を強力に推進するという方針を決定しているようです。

特に注目したいのは、この補正予算の中に整備新幹線関係の予算も含まれるという情報です。整備新幹線については、この四月より検討委員会を設置して、六月二十日迄の今国会の会期内に、その取扱いを決定するという政府の考え方もあり、補正予算の中味ともからみ、ここ数か月は新幹線問題を抱える地域にとつて、見逃すことのできない重要な時期を迎えているといえます。当地域でも三月十三日には、地元期成会が総決起大会を開催、千五百名の地域住民が集まり、道新幹線の早期着工と、青函同時開業を目指して決議を行い、十八日にはこの決議をもって、会長である本所若林会頭を始め、地域の代表二十名が中央陳情を行いました。さらに三月十五日からは二十万人を目標に、署名運動を実施しておりますので、青函同時開業実現のため、会員各位のより一層のご協力をお願いします。

# 会 議 所 の 動 き

## 平成5年度 事業計画・収支予算決まる

本商工会議所第五回総務委員会、第六回常議員会、並びに第三回通常議員総会は、去る三月十日、三月十六日、及び三月二十六日それぞれ本所会議室において開催されました。

第六回常議員会では、常議員二十三人が出席し、第三回総務委員会において審議、了承された本所平成五年度の事業計画並びに収支

予算等を審議し、原案どおり通常議員総会に提出することとしたほか、事務規程及び中小企業相談所設置規程の一部改正と新会員の加入について、それぞれ議決しました。

次に、第三回通常議員総会は、八十五人（うち委任出席四十一人）が出席し、開催されました。

総会では、若林会頭の開会挨拶の後、議事に入り、報告事項に引き続き附議事項の三議案を審議し、いずれも原案どおり決定しました。その概要は次のとおりです。

### ■平成五年度事業計画大綱

- 1 青函インターブロック交流圏構想の推進
- 2 高速交通体系の確立と函館港の整備促進
- 3 第二期テクノポリス函館構想と企業誘致の推進
- 4 地元中小企業対策の推進と観光資源の整備促進
- 5 国際交流の推進と人材の育成

### 確保

を中心に、函館市との連携を保ちつつ、諸施策、諸事業を積極的に推し進め、函館経済の活力増進そして拡大充実を図るとともに、北東北、道南地域の各経済団体との連携を深め、第四次全国総合開発計画に示された北日本第三の経済文化圏の形成に向けて努力を重ねていくことになりました。

### ▼平成五年度事業計画

#### I 地域振興対策

- 1 青函インターブロック交流圏構想の推進
- 2 テクノポリス函館計画の促進とテレポートピア構想に基づく事業の推進
- 3 盛岡・函館間新幹線の早期建設
- 4 北海道縦貫自動車道の七飯側からの早期着工と新外環状線の早期建設
- 5 函館港の整備促進
  - ・大型公共埠頭計画の早期建設
  - ・客船埠頭計画の促進
  - ・ウォーターフロント地区の早期整備
  - ・コンテナヤード計画の促進

#### 6 函館空港の整備充実

- ・滑走路三千メートル工事の早期完成
- ・地方基幹空港との新路線の開設
- ・CIQ体制の確立と国際定期便の就航
- ・空港ビルの拡張整備

- 7 市内拠点地区の再開発促進特に函館駅前地区の再開発計画の早期策定
- 8 国立函館大学の設置促進及び技術教育の拡充整備
- 9 道立工業技術センターの活用による技術水準の向上と新技術の開発
- 10 都市計画の抜本的見直しと新工業団地の早期建設、企業誘致の促進
- 11 姉妹都市などとの国際交流の推進

#### II 商工業の振興

- 1 関連する税制並びに法規等の調査研究
- 2 中小企業振興対策
  - ・地場工業の振興と技術向上対策の推進
  - ・中小企業の近代化、高度化対

策の推進と各種融資制度の活用促進

・函館地域特定中小企業集積活性化計画の推進

・小売商業振興ビジョンによる振興策推進

・商業活動に対する適正な調整  
・諸刊行物による経済情報活動の促進及び魅力ある地元企業の紹介

### 3 小規模事業対策

・相談指導体制の充実強化  
・講習会、講演会開催等による小規模企業の育成強化  
・小企業等経営改善資金など融資制度の運用拡大

・経営安定化のための各種制度及び施策の普及促進

4 観光振興対策（新函館市観光基本計画の推進）

・観光資源、観光基盤の整備促進

旧函館支庁庁舎の早期復元、  
函館奉行所の復元計画の策定、西部地区の景観、街なみの保存と活用、旧ロシア領事館の復元促進

・観光通年化対策など観光客増

加対策の推進と受入れ体制の充実強化

・広域観光圏確立のため関係団体の協調体制の拡大推進

・函館・大沼リゾート地域整備構想の推進

・各種行催事への積極的参加及び  
び新観光土産品等の開発、啓発強化

5 青森、鹿児島両商工会議所並びに道南各経済団体との提携強化

6 亀田、銭亀沢両商工会と市内経済団体統一に向けての協議推進

### Ⅲ 函館商工会議所運営の充実強化

1 新会員の募集と口数の拡大並びに会員サービス事業の充実強化

2 部会、委員会活動等の活発化

3 生命、退職金、個人年金共済等各種共済事業への加入拡大促進

4 創立百年記念事業の具体的推進

5 会議所報「ともえ」の効率的活用

### ▼平成五年度収支予算

平成五年度の事業計画を推進するための収支予算は、総額三億一千九百九十六万円と決定しましたが、このうち事業費は六千一百四十七万円で、活発な事業展開が期待されています。

▼運営資金借入限度額について  
運営資金借入限度額については前年度同様、三千万円とすることが承認されました。

### 第4回 函館経済団体協議会

本所及び函館市亀田商工会、函館市銭亀沢商工会の経済三団体で構成している函館経済団体協議会（会長 高野洋蔵本所副会長）の第四回会議が、去る三月二十九日、委員十五名出席のもとに、函館ハービービューホテルにおいて開催されました。

今回の会議は、函館市が都市計画を進めていく上での具体的な方針や問題点について研修するため、函館市都市建設部都市計画課米谷企画係長をお招きし函館市の都市

計画について説明を受けました。

### 函館空港国際化推進協設立総会

函館空港の国際化の推進に関する活動を行うとともに、北海道はもとより北海道全域の国際化や産業の振興に寄与することを目的とした「函館空港国際化推進協議会」の設立総会が去る三月二十二日、函館ハービービューホテルで開催されました。

総会には、木戸浦函館市長、若林本所会頭をはじめ、行政、経済界代表など三十一名が出席、規約や役員等について協議し、会長に本所若林会頭が選出されました。  
当面は、ユジノ・サハリンスク線の就航実現に向けて、国際線ターミナル施設をはじめ、CIQ体制を早急に確立するよう関係方面に要請していくとともに、将来は海外諸国との新規路線の開設を図っていくなど、函館空港国際化の推進のため、積極的に取り組んでいくことを決定しました。

# 道新幹線の実現に向け 総決起大会や中央陳情を展開

北海道新幹線建設促進道南地方期成会（会長・本所若林会頭）の総決起大会が、去る三月十三日、函館国際ホテルで開催されました。今回の総決起大会は、整備新幹線計画の見直しに四月に開始されるということもあり、地域の永年の願いである北海道新幹線の早期着工と青森・函館同時開業の実現を図るために開催されたもので、

北北海道開発庁長官、自民党の佐藤総務会長・島村国民運動本部長を始め地元選出の国会・道議会議員等多数の来賓が出席、約千五百名の方が会場を埋めました。

若林会長は「北海道新幹線は、本道の開発と国土の均衡ある発展を図る上で欠くことのできない基幹施設である。その実現のためには今後二、三カ月が正念場であり、このあとも二十万人署名を行うなど諸運動を展開していく」と挨拶。また、来賓の方々からも、北海道新幹線の実現に向けてそれぞれ

力強い挨拶がなされました。

続いて、期成会副会長の木戸浦 函館市長から決意表明がなされた後、同副会長の金澤七飯町長から「北海道新幹線の早期着工と青森・函館同時開業の実現を」と決議文が読み上げられ、満場一致で採択、最後に万歳三唱の大きな盛り上がりの中で大会を終了しました。また、同期成会では総決起大会の決議に基づき、去る三月十八、

## 函館圏優良土産品推奨会開催

本格的な観光シーズンを間近に控え、道南地域を代表する優れた観光土産品を発掘・推奨することにより、観光土産品業界の健全な発展を図ると共に、当地域を訪れる観光客に「より良い安心のもてる商品」を持ち帰っていただくこと、去る三月二十五日「函館圏優良土産品推奨会」が本所を会場に開催されました。

十九日の両日、若林会長、木戸浦副会長をはじめ二十三名が参加し、自民党や関係省庁、日本鉄道建設公団等に強力な陳情活動を行いました。

一方、北海道商工会議所連合会でも、去る三月十七日、正副会頭を中心とし、北海道新幹線の早期着工を自民党や関係省庁に陳情要望しました。

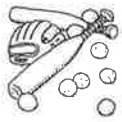
北海道新幹線の早期着工と青森・函館同時開業を実現するため署名運動を実施しております。ご家族全員、そして職場でも全員のご署名をお願いいたします。

平成四年度上期の当市の観光客入込み数は、前年同期比九十九・五%の三百九十二万人と、ほぼ前年並みを維持したものの、順調に伸び続けた当市の観光客入込みもやや一服、調整局面を迎えている中で、今年で三十七回目の推奨会には、不況ムードを吹き飛ばそうと、農水産、菓子、民芸品の各部門へ計十八社より、各企業の自信

第37回函館圏優良土産品推奨会受賞商品一覧

賞 名	品 名	企 業 名
函館市長賞	北の句詰めセット 函館のかすていら	(株) 竹田食品 (株) 精 養 軒
函館商工会議所会頭賞	ななえりんごわいん カマンベールチーズケーキ	(株) はこだてわいん (株) 第一食品
みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会会長賞	北の花びら焼 雪花(はびかにほたて) いかいかクッキー	(株) フジマン(製造元) 昭 和 製 菓 (株)
みなみ北海道広域商工振興連絡協議会会長賞	奥尻産 天然おさしみ苕布 はこだてきぶれ	(株) 不二屋本 (有) キングベーク
奨 励 賞	かにみそ缶詰 たこしゃぶ シーフードお吸もの・いか最中 函館市埠北海道手造りかりんとう(だんしゃく) 北の花びら焼 雪花(あわ・いりこ、玄米・いか、ひえ・小女子) イカのキャンドル	(株) 布 目 朝 日 食 品 (株) 水 野 屋 (有) ゆ う み ん (株) フジマン(製造元) お お ば 工 芸

作九十点が出品されました。推奨会では、まず食品について審査が行われ、過大包装、不当表示、表示義務違反がないか厳正に審査、引き続きこの審査で合格した商品に、民芸品を加え、郷土色、包装デザイン、価格、味覚等について審査を行ない、特に優秀な次の十四点にそれぞれ各賞が授与されました。



# 事務局日誌

## 3月

### \*正副会頭会議

- 9(火) 第34回正副会頭会議
- 24(水) 第35回正副会頭会議

### \*総会

- 26(金) 第3回通常議員総会

### \*常議員会

- 16(火) 第6回常議員会

### \*部会

- 24(水) 商業部会幹事会

### \*委員会

- 10(水) 総務委員会

### \*会議(日商)

- 4(木) 平成5年度汚染負荷量賦課金及び拠出金業務委託商工会議所担当者研修会

### \*会議(道商連)

- 1(月) 横路北海道知事と北海道商工会議所連合会会頭、副会頭との夕食懇談会
- 2(火) 第110回常議員会
- ◇ 第119回通常会員総会

### \*審査会

- 12(金) 小企業等経営改善資金審査会

### \*諸会議

- 2(火) 平成5年度労働保険事務組合年度更新関係業務説明会
- ◇ 国民金融公庫と本所経営指導員との研修会
- ◇ 北海道新幹線建設促進道南地方期成会理事会
- 4(木) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会常任幹事会
- 5(金) 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会常任幹事会
- ◇ 箱館五稜郭祭打合せ会議
- 6(土) ウラジオストック市訪問クルーズ実行委員会
- 12(金) 北海道管区行政監察局函館行政監察分室「行政懇談会」
- 13(土) 自由民主党道内選出国会議員との昼食懇談会
- ◇ 自由民主党函館支部政経セミナー
- 16(火) 第4回青森・函館商店街活性化懇談会
- 17(水) 中小企業庁稲見地域中小企業振興室長を囲む懇談会
- 19(金) 函館経済団体協議会事務局打合せ
- ◇ 議員会視察旅行打合せ
- 22(月) 所報「ともえ」4月号 No.140編集会議
- ◇ 婦人会役員会
- ◇ 平成4年度みなみ北海道観光連盟事務担当者会議
- ◇ 函館市銭亀沢商工会「都市計画についての懇談」
- ◇ 函館空港国際化推進協議会設立総会
- 23(火) ほくでんトーク・サロン「今、エネルギーと地球環境を考える」
- ◇ 第21回函館地域電力懇談会

- 23(火) 函館市大型店出店対策協議会
- 25(木) (財)テクノポリス函館技術振興協会平成4年度第2回理事會
- ◇ 第37回函館圏優良土産品推奨会
- ◇ 函館市公文書公開審査会
- 26(金) 国立函館大学誘致促進期成会第12回学部用地検討委員会
- ◇ 本所顧問税理士との懇談会
- 28(日) 「函館野外劇の会」理事会
- 29(月) 横浜商工会議所経営指導員研修訪問
- ◇ 平成4年度第4回振興委員連絡会議
- ◇ 函館極東貿易協同組合情報連絡会議
- ◇ 新函館市観光基本計画検討委員会
- ◇ 函館経済団体連絡協議会
- 30(火) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会常任幹事会
- ◇ 箱館五稜郭祭実行委員会役員会

### \*講習・催物

- 10(水) 経営相談
- 11(木)~16(火) 沖縄の物産と観光展(本所後援)
- 17(水) 発明相談
- 19(金) 経営安定特別セミナー「手形・小切手の実務講座」
- 23(火)~24(水) 新入社員セミナー
- 26(金) 法律相談

### \*刊行物

所報「ともえ」3月号 No.139  
函館地域における経済の動き(平成4年度第3四半期)

### \*相談・診断

金融 135 税務 331 経理 15 経営 77 労働 1  
取引 1 その他 2 合計 562

### \*貸室 13

### \*文書 受信 183 発信 20

### \*陳情・要望

- 13(土) 北海道新幹線早期着工、青森・函館同時開業実現総決起大会
- 17(水) 北海道新幹線に関する中央陳情(北海道商工会議所連合会)
- 18(木)~19(金) 北海道新幹線に関する中央陳情(北海道新幹線建設促進道南地方期成会)

### \*慶弔・その他

- 2(火) ザ・ネイチャー・カンパニー「函館店」開店記念式典
- 12(金) 東邦生命保険(相) 太田社長、高山営業本部長、大滝函館支社長表敬訪問
- 15(月) 函館市自衛隊協力会他主催「在函館部隊長を囲む会」
- 16(火) 日本銀行函館支店内見学会
- ◇ 函館大学第25回卒業記念パーティー
- 19(金) 函館経営者協会幹事会懇親会
- 23(火) 商工中金函館支店長歓迎送会
- 31(火) 「函館市文学館」竣工記念式典、祝賀会

## 函館商工会議所事務局新人事のお知らせ(4月1日発令)

(課長職以上)

- 事務局長 野崎 隆夫  
総務課長事務取扱
- 事務局次長 日野 晴朗  
中小企業相談所長  
指導課長事務取扱
- 事務局次長 小林 規彦  
創立百年記念事業担当
- 相談課長 早稲田 穂積

## 第2・第4土曜日閉所のお知らせ

本所では、今月より毎月第2・第4土曜日を閉所させていただくことになりましたので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

なお、第2・第4土曜日以外の土曜日につきましては、従来通りの業務を行っておりますので、お気軽にご来所下さい。

函館商工会議所

受注については、土木関係が公共工事の発注増加を背景に増加傾向にあるものの、建築関係については民間設備投資の低迷等から依然低調な状態にあり、案件の捕捉に躍起となっている。

(5) 漁業

漁業の状況をみると、スケトウ漁（漁期10～2月）は魚価が低迷するなか、渡島では豊漁、桧山では不漁と明暗を分けたが、全体では前年を1割方下回る水揚げ額で終漁。また噴火湾ホタテ漁（養殖、漁期12～3月）も貝毒や大量弊死の発生もなく、全体の水揚げ量はまずまずながら、全道的な供給過剰や末端消費の低迷等を映じて原貝価格は大幅に前年を下回っており、養殖漁家の採算割れが懸念されている。

(6) 消費関連

2月中の市内大型小売店（10店）の売上高は、冬物売りつくしセールがいまひとつ盛上がりやを欠くなか、紳士スーツ等の不振に加え食料品、家庭用品が更に落込んだことから、6カ月連続の前年割れ（前年比マイナス6.2%）となった。一方、耐久消費財では、軽自動車等の販売不振から新車全体では引続き登録台数は前年割れであるが、乗用車のみをみると値頃感のある小型車及び大衆車の好調から久し振りに前年を上回った。家電はパソコンや小型ビデオカメラ等一部商品を除き依然不振が続いており、総じて低調な販売地合い。

この間、観光・レジャー面をみると、宿泊施設では、湯の川地区を中心に福岡や札幌方面からの低価格ツアーを積極的に取込んだことから、2月中はほぼ前年並みの宿泊客数を確保しており、観光施設の入込みも前年を上回った。一方、交通機関については、津軽海峡線の不振に加え、函館空港利用客数が東京・大阪方面からのスキーツアー客鈍化を背景に3年10カ月振りに前年割れとなった。

3.金融事情(2月中)

実質預金は、法・個人預金とも引続き不冴え裡に推移しており、1月末休日に伴う高止まり分の剝落もあって、月中59億円減と前年の9億円増とは様変わりでの減少となった。また貸出しは、設備需資を中心に基調としては引続き低迷しており、前年の39億円増に比べて月中18億円の小幅増加となった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短期プライムレートの引下げ等を映じ、月中マイナス0.068%と引続き低下した。

銀行券は、冬場行楽資金の順調な還流等から月中5億円と前年の1億円を小幅ながら上回る発行超となった。

財政収支は、租税、保険の受入に加え、郵便局が前年と様変わりの受超となったことから、前年の21億円を上回る月中35億円の受超となった。

データをチェック!

「安・近・楽」レジャーに

～ 手軽な娯楽への参加が増える ～

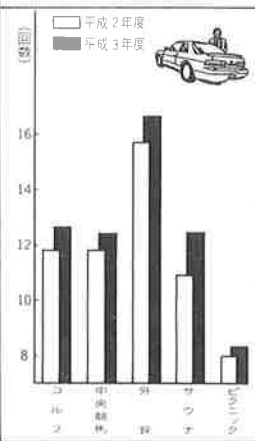
週休二日制の普及が進み、国民の休日が増えてきたのに伴い、余暇活動が活発になっています。この一年間の余暇の過ごし方は、費用のかからない近場でのレジャーが伸びていることが特徴です。

参加が増えているレジャーは、サイクリングやスキーなどのスポーツ分野のほか、鑑賞型レジャーや競馬、カラオケなどの手軽で身近な娯楽への参加も多くなっています。

一方、レジャーの代表とされてきた国内旅行や海外旅行は、あまり上昇しませんでした。その半面、近くて安くすむドライブや登山などの手軽な行楽が増えています。

余暇に使われた費用については、平成3年度は72兆円。前年度と比べると4兆円ほど伸びていますが、ここ数年に比べてやや緩やかな伸びになっています。その理由として、経済の不景気を挙げることができ、レジャーに使われる道具の購入費は減っています。しかし、本来の余暇産業であるサービス部門は6.6%と伸び、全体的には余暇活動が活発になっていることを示しています。

レジャー別による年間平均活動回数の変化







## 1. 概況

最近の管内経済動向をみると、公共工事が増加し、住宅投資も函館市周辺3町の持家、貸家に動意がみられるものの、製造業の設備投資が依然盛上りに欠けるほか、個人消費も総じて低迷を続けていることから、全体の景気は引き続き停滞している。

すなわち、製造業では、セメント、水晶振動子が高めの生産を継続しているほか、陸上機械部門の好調を受けて造船が、また輸出向けを中心に半導体がまずまずの操業を続けている。しかし、一般機械の生産は消費需要の落込み等から低迷している。一方、非製造業では、公共工事の発注増加から土木関連筋が繁忙感を強めているほか、新車販売も乗用車が久方振りに前年を上回ったが、市内大型小売店の売上は全般的な需要の落込みから引き続き不冴え裡に推移、家電も一部商品を除いて低調な販売を続けている。この間、観光は宿泊施設が低価格ツアー客の取込みによりほぼ前年並みの宿泊数を確保しているものの、各交通機関の利用客数は前年割れとなるなどまちまちな動きを示している。

漁業では、スケトウ漁が前年を1割方下回る水揚げ額で終漁。また、噴火湾ホタテ漁も供給過剰や末端消費の低迷等から原貝価格が大幅に前年を下回っており、管内漁業全体の水揚げは総じて不冴え。

こうしたなか、2月に実施した管内企業短期経済観測調査結果をみると、足許の売上・生産が最終需要の停滞から盛上りに欠けるほか、4年度収益も大幅減益が見込まれており、業況判断は足許「悪い」とする先が「良い」とする先を2割方上回っている。また、

先行きについても、現状ほぼ横這いで推移する見通し。

2月の金融動向をみると、預金、貸出しとも景気停滞等を映じ引続き盛上りを欠いた。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短期プライムレートの引下げ等から引続き低下した。

## 2. 主要業種別動向

### (1) 機械・電子部品

水晶振動子は、欧米向け通信機器関連需要の増加から高めの生産を行っている。また、造船も修繕船受注は鈍っているものの、補正予算絡みの橋梁の受注好調から、全体ではまずまずの操業を継続。半導体は米国向けのパソコン需要が好調を継続しているが、国内需要全般の不振から前年並みの操業度となっている。また一般機械は、製缶関連、水産加工関連が消費需要の回復の遅れから生産の低迷が続いているが、合板関連は更年後の新規受注が増えつつある。

### (2) 食料品

水産加工の売上は、生鮮珍味が惣菜用の需要を中心に底堅く推移しているものの、乾燥珍味が原料安を背景とした納入価格の低下や消費減退の影響から依然低迷しており、全体では引き続き前年割れ。また飼料・魚油も前年を下回る売上を続けている。

### (3) その他製造業

セメントは、公共需要を中心に足許フル生産体制で臨んでいるほか、生コンの出荷量も補正予算絡みの需要増加から前年を大幅に上回っている。一方、合板は、原木不足懸念を映じた先行き手当の動きから出荷が堅調であるが、先行き不透明感もあって慎重な生産姿勢を継続している。また、段ボールの生産・出荷も低調裡に推移している。この間、漁網の受注・生産はサケマス流し網等がスポット物を中心に回復の兆しをみせているが、総じては不冴えの域を脱していない。

### (4) 建設関連

管内主要5官庁の公共事業発注状況を見ると、大型補正予算の発注が順調に進捗したことから、4年度発注額累計(2月末)は前年に比べてプラス30.3%と引続き高い伸びを示している。また、函館市及び周辺3町の新設住宅着工戸数(2月)は、全体では再び前年割れとなっているものの、3町の持家、貸家は持ち直し傾向にある。この間、建設業者の

函館市産業中分類前年比較表(従業員4人以上)

(単位:人、万円、%)

	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
	2年	3年	前年比	2年	3年	前年比	2年	3年	前年比
総数	585	619	105.8	13,044	13,648	104.6	27,545,196	29,124,976	105.7
食料品製造業	217	226	104.1	6,241	6,391	102.4	11,003,575	11,696,089	106.3
飲料・飼料・たばこ製造業	13	13	100.0	380	410	107.9	7,265,836	6,744,338	92.8
繊維工業製品製造業	18	20	111.1	357	369	103.4	453,100	475,369	104.9
衣服・その他繊維製品製造業	16	15	93.8	171	229	133.9	90,135	108,755	120.7
木材・木製品製造業	18	19	105.6	399	407	102.0	756,846	793,224	104.8
家具・装備品製造業	42	44	104.8	353	354	100.3	360,049	362,158	100.6
パルプ・紙・紙加工品製造業	10	10	100.0	171	165	96.5	404,589	444,022	109.7
出版・印刷・同関連産業	71	72	101.4	905	930	102.8	1,332,003	1,496,278	112.3
*化学工業	6	7	116.7	182	194	106.6	528,490	553,380	104.7
*石油製品・石炭製品製造業	1	1	100.0	x	x	x	x	x	x
プラスチック製品製造業	4	4	100.0	74	73	98.6	177,371	178,619	100.7
ゴム製品製造業	6	7	116.7	212	212	100.0	143,151	134,648	94.1
皮革・同製品・毛皮製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
窯業・土石製品製造業	13	18	138.5	208	219	105.3	275,059	368,361	133.9
*鉄鋼業	8	7	87.5	171	168	98.2	386,884	421,098	108.8
*非鉄金属製造業	2	2	100.0	x	x	x	x	x	x
*金属製品製造業	48	51	106.3	527	611	115.9	846,458	1,000,708	118.2
*一般機械器具製造業	41	47	114.6	687	737	107.3	1,171,465	1,274,924	108.8
*電気機械器具製造業	9	11	122.2	775	900	116.1	511,150	734,610	143.7
*輸送用機械器具製造業	14	18	128.6	1,001	1,036	103.5	1,606,973	2,086,677	129.9
*精密機械器具製造業	4	4	100.0	56	69	123.2	72,113	74,592	103.4
その他の製品製造業	24	23	95.8	156	155	99.4	141,374	156,245	110.5

注)記号「-」=該当数字がないもの 「x」=数字が秘匿されているもの

函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成5年2月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,296,257	61.7	92.0
身の回り品	542,079	63.4	100.3
雑貨	757,406	90.3	91.8
家庭用品	522,129	80.8	88.9
食料品	1,730,770	100.3	95.1
食堂・喫茶	139,068	70.5	102.8
サビス	84,066	77.5	78.8
その他	353,796	64.5	103.8
総計	6,425,571	74.4	93.8

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、  
テオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料

平成 3 年

# 工業統計調査 結果概要

函館市では、このほど「平成3年工業統計調査」（指定統計第10号、函館市分）結果をとりまとめました。

この調査は、通商産業者が全国の製造業を対象に事業所数、従業者数、製造品出荷額、付加価値額などを調査し、製造業の構造及び生産に係わる諸活動の実態を明らかにするため、明治42年以来、毎年12月31日現在で実施しているものです。

以下、従業者4人以上の事業所を対象とした結果の概要についてお知らせします。

市内の事業所数は619事業所で前年（2年）に比べて34事業所5.8%増加しており、従業者数でも13,648人と同604人4.6%の増加、製造品出荷額も2,912億4,976万円と同157億9,780万円、5.7%の増加となっています。

業種別にみると、当市基幹産業の水産加工工業を含む「食料品製造業」は事業所数、従業者数、製造品出荷額ともに増加しており、同業種出荷額の全体に占める割合も40.3%と、前年（40.0%）をわずかに上回っています。また「出版・印刷・同関連産業」の出荷額も16億4,275万円、12.3%の増加となり、これらを含む軽工業全体では、事業所数471で前年より19事業所、4.2%増加、従業者数は9,914人、同287人、3.0%増加、製造品出荷額も2,295億8,106万円、同55億5,018万円、2.5%の増加となっています。

次にもう一方の当市主要産業である造船業を含む「輸送用機械器具製造業」は出荷額が前年より47億9,704万円、29.9%の大幅な増加となり、出荷額全体に占める割合も7.2%と前年（5.8%）を上回りました。また「金

属製品製造業」の出荷額も同15億4,250万円、18.2%の増加となり、これらを含む重化学工業全体では、事業所数148で前年より15事業所、11.3%増加、従業者数は3,734人、同317人、9.3%増加、製造品出荷額も616億6,870万円、同102億4,762万円、19.9%の大幅増となっています。

※グラフ中の『重化学工業』は右表産業中分類の\*印項目の合計です。

図-1 事業所数の推移

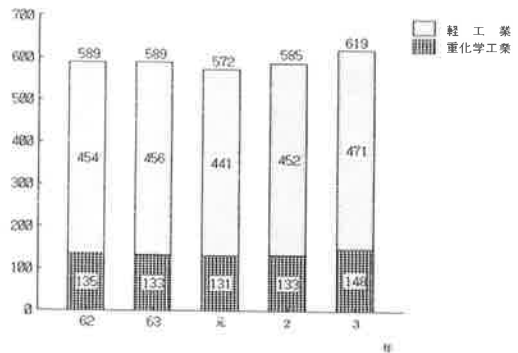


図-2 従業者数の推移

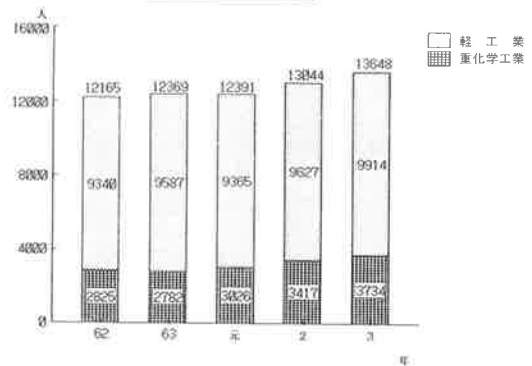
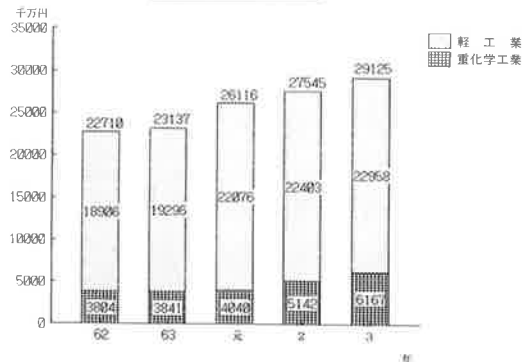


図-3 出荷額等の推移



# 症状があったら「迷わず」検査を -ガンの診断-



経営者のガン予防 (11)

癌研究所、主任研究員 医学博士 坂元 吾偉

## ■ 早期発見の8か条

ガンの研究は日一日と進歩してガンの発生を高める要因についてはかなり多くのことが分かってきました。しかし、真のガン発生原因がまだ分かっていないこともあって、ガンの発生要因をできるだけ追放し、ガンの発生を予防しようとする「一次予防」だけで全くガンにかからないようにすることは無理です。

そこでガンが発生した場合

でも、できるだけ早期に発見し、早期に治療して治療に導く、すなわちガンで死ぬことを防ぐ「二次予防」が重要になります。二次予防の基本はガンの「早期発見・早期治療」につきまます。ガンの二次予防のためには「早期発見のための8か条(表1)」があります。

ガンの早期発見のためには症状がなくても定期的なガン検診が理想的ですが、症状があったら「迷わず」ガンの検査を受けることが最も重要です。ガンについての勝手な自己判

断は禁物で、正しい判断は医師の仕事です。

## ■ ガン発見の診断法

最近のガンの診断法の進歩はめざましく、ある特定の臓器にガンがあるか否かを判断することは、それほど難しいことではなくなっています。

現在一般的に行われているガンの診断法の主なものについては、下記のような診断法が使われています。

つづく

表1 ガン早期発見のための8か条

1. 胃：胃のぐあいかわるく、食欲がなく、好みが変わったりしないか
2. 子宮：おりものや、不正出血はないか
3. 乳房：乳房の中にシコリはないか
4. 食道：のみこむときに、つかえることはないか
5. 大腸・直腸：便に血や粘液がまじったりしないか
6. 肺：せきが続きたり、たんに血がまじったりしないか  
喉頭：声がかすれたりしないか
7. 舌・皮膚：なおりにくい潰瘍はないか
8. 腎臓・膀胱・前立腺：尿の出がわるかったり、血がまじったりしないか

### ● X線診断 ●

さまざまなガンの臨床的な診断のなかでも、診断の頻度や精度からみて最も重要と考えられます。単純撮影のほか造影剤を用いた撮影があります。またCTスキャンはこれまで診断の難しかった肝臓・膵臓・脳などの実質臓器のガンの診断に威力を発揮します。また、X線診断とは原理が異なりますが、最近ではMRT(磁気共鳴画像)診断もガンの診断のみならずガンの広がりや位置関係についても情報を提供してくれます。

### ● 生化学的診断 ●

ある種のガンが産出する物質(腫瘍マーカー)濃度を血清や尿さらには分泌液などで測定し、ガンの補助診断とします。

### ● 内視鏡診断 ●

体内の管腔臓器の表層を直接観察するもので消化管、気道、尿路系などに用いられます。同時に組織診や細胞診の検体を採取することができる利点があります。

### ● 超音波診断 ●

体外あるいは臓器の管腔部から発した超音波を用いて画像を描出する方法。

### ● 病理組織診断 ●

いかに臨床的診断法が発達したとはいえ、ガンの最終診断は体内から採取された生検組織や細胞を検査する臨床病理的な組織診や細胞診によって確定します。

さらに、生検組織診からは組織型や悪性度などの治療に必要な条くの情報が得られます。



中小企業の経営者には忙しい人が多いということは承知していたが、ある中堅企業の社長は週七十時間近くは働いているという。

この中には取引先との会食とか冠婚葬祭への出席も含まれているが、スケジュールを見せられてもらうと、会議とか取引先への訪問、来訪者の対応などびっしりと予定が書き込まれ、自分で自由になる時間はほとんどない。

報告書を読んだり、書類の決済はいっつけるのかと思って聞くと、会議の合間とか、車の中、時には家に持ち帰ってしているという。

五十歳代後半でこれだけ精力的に活躍しているこの社長は立派といえど立派だが、いつまでこれが続けられるか、他人ごとながら心配になったばかりか、これでは経営者としての責務が果たせないのではないかという気がした。

経営者のもっとも重要な責務といえど、経営環境の変化を十分把握

握して、しっかりと経営戦略を立てることとか、後継者の育成とかいろいろあるが、これらを果たすためには、周りにわずらわされることなくじっくりと考える自由な時間が必要である。それもこま切れではなく、少なくとも二時間ぐらいの継続した時間をできることなら毎日もつことである。

### 時間を作ろう



この社長のように忙しい人が自由時間を持つためには、まず現在の時間の使い方を調べ、会議でも人との対応や取引先との交渉でも、代理の者ですむもの、事後の報告でも良いものをチェックし、これからはそうしたものに時間を使わぬようにすることである。わが国の場合、形式や義理で会議に顔を出すことが少なくないが、こうしたものにとらわれぬようにすべきである。

次に、組織を見直し、業務の分担を変えることや、権限の委譲を進めることである。業務が円滑に進めば会議は減るし、権限委譲ができていれば経営幹部が出席しなくても済む会議も多くなる。また内部調査などに経営幹部が時間をとられることも少なくなるので、組織の欠陥を直すことも自由時間を生む上で重要である。

さらに、組織内の情報伝達システムを整備して、経営幹部が知りたい情報がきちんと入り、また伝えたい情報が伝えたい部署に行けば、会議や担当者呼んで説明を求めるといったことも減って、時間をうかすことができる。

この他に、自分の業務を代行できる後継者を育てることで時間を作る方法もあるが、いずれにしても、重要な判断や決定を誤らないためには十分な時間が必要なことを考えると、社長ばかりではなく、上級管理職も、自分で自由に使える時間を作る工夫をすべきであろう。

(群馬女子短期大学教授・内田 知二)

71年の伝統と信用を誇る

## 早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話(03)3946-0531 <代表>

<発明相談> 5月19日水曜日、午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっておりますので、商工会議所相談課(23-1181内線63番)にお申込み下さい。